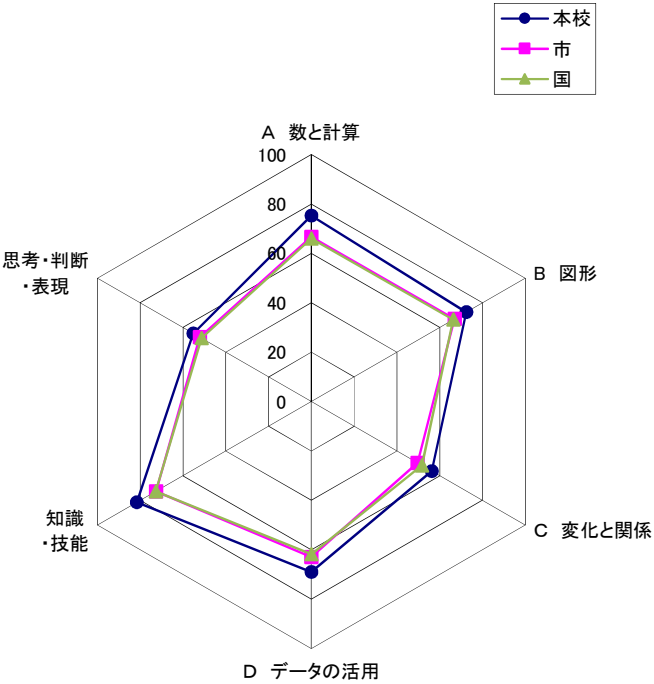


宇都宮市立西小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	75.3	66.7	66.0
	B 図形	72.4	66.9	66.3
	C 測定			
	C 変化と関係	56.3	49.6	51.7
	D データの活用	69.0	62.9	61.8
観点	知識・技能	81.6	72.6	72.8
	思考・判断・表現	55.2	52.2	51.4
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	本校の平均正答率は、市の平均よりも8.6ポイント高い。 ○数量の関係を口を用いた式に表したり、除法の計算、考え方はよく身に付いている。 ●計算の方法を考察し、答えの求め方を式や言葉を用いて記述することに課題が見られる。	・今後も、基本的な計算の定着に向け、計算ドリルやAIドリルを活用していくとともに、習熟度別学習や少人数指導を生かして、個に応じた指導の充実を図る。 ・計算の仕方を話し合ったり、説明したりする活動を通して、筋道を立てて考える力を育成する。
B 図形	本校の平均正答率は、市の平均よりも5.5ポイント高い。 ○直方体の見取り図のかき方や、円柱の展開図をかく際の直径、円周、円周率の関係を理解している。 ●図形の構成要素について言葉で説明することに課題が見られる。	・図形を作製したり、分解したりするなど具体物を操作する体験的な活動を積極的に取り入れ、図形の性質や構成要素の理解を更に深められるようにする。 ・複数の図形を関連付けて、性質や特徴について共通点を見つけたり、類推したりする活動を通して、考察したことを言葉で説明する力の育成を図る。
C 変化と関係	本校の平均正答率は、市の平均よりも6.7ポイント高い。 ○速さの意味を理解し、分速を求めることがおおむねできている。 ●歩いた時間がどちらが速いかを判断し、そのわけを記述する設問の正答率が低い。	・日常生活を想起させながら問題を捉え、どんな場面かを想像しやすくすることで、速さについての理解を深められるようにする。 ・道のり、速さ、時間を短答式で求める問題だけでなく、求めた答えを比較して、さらに考察するような複雑な問題を積極的に取り入れ、記述式の問題に慣れさせるようにする。
D データの活用	本校の平均正答率は、市の平均よりも6.1ポイント高い。 ○円グラフや簡単な二次元の表の読み取りが身に付いている。 ●折れ線グラフから必要な情報を読み取り、求められていることに対して、条件に合わせて記述する設問の無回答率が高い。	・引き続き、データ活用の基本となる数値の読み取りを丁寧に扱い、正確に読み取れるようにする。 ・問題で求められていることや目的に応じて、条件に合う数値を取捨選択して読み取り、考察に生かすことができるよう、他教科においても、資料の読み取りと考察の機会を積極的に取り入れるようにする。